
熱血！アニメゲームリーグ戦

阪神虎之介

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

熱血！アニメゲームリーグ戦

【Zコード】

Z6439Z

【作者名】

阪神虎之介

【あらすじ】

作者さん達のチームも参加するリーグ戦が幕を開ける…！

それぞれの作品から出てきたみんなが白球を追いかける…！

【登場作品】

- ・けいおん！・けいおん！・とある魔術の禁書目録・とある科学の超電磁砲・スーパーマリオブラザーズ・ドンキーコング・ドラえ

もん・こぢら葛飾区亀有公園前派出所・ポケツトモンスター・ウル
トランシリーズ・ウルトランゼロ・海賊戦隊ゴーカイジャー・
けいおん!在校生編・けいおん!大学生編

チーム紹介（前書き）

開催の理由は「色々な作品との交流」と考えてもらいたい。

後あまり考えずに野球だけ考えてください。

試合はプロ野球の試合を参考にしていきます。

チーム紹介

【小説ウイニングス】

監督・阪神虎之介

作者さん達で集めたチーム。左腕のエース ikeki を筆頭にコンピューター・紀葉等個性的な選手が集まる。

【桜ヶ丘ティータイム】

監督・山中さわ子

「けいおん！」のメンバーだけで集めたチーム。変則投法の平沢唯に恐怖の3番打者平沢憂の平沢姉妹を筆頭に投打共に充実している。

【学園都市ゴールデンガールズ】

監督・木山春生

「とある科学の超電磁砲」の女性キャラのチーム。

一番御坂、二番初春のコンビにエースで四番の佐天が機能すれば壊滅的な打線となるが弱点は打線重視のチームの為、一回押さえ込まれるとダメになる。

【マコオマリナーズ】

監督・マリオ

「マリオ」のチーム。

エースドンキーの球質の重さは論外。マリオルイージ兄弟のクリーンアップ次第で勝敗が左右される。

今はどうか知らないけど昔任天堂がシアトルマリナーズのスポンサーだった関係でチーム名が「マリナーズ」になった。

【ジャイアンズ】

監督・剛田武

「存じ」「ドリーム」のチーム。

監督兼エース兼主砲の剛田武のワソンマンチームかと思えば、天才出木杉、未来の猫型ロボット「ドリーム」等伏兵が多い。調子こいてると普通に負けます。

【インデックス】

監督・一方通行

「とある魔術の禁書目録」からのチーム。

能力の問題で一方通行が監督に回ったがフラグ建築士上条、タバコを吸う14歳スタイル、妹思いの主砲土御門のクリーンアップが特徴。

【ポケットモンスターーズ】

監督・オーキッド

「ポケットモンスター」のチーム。

【亀有ポリスマンズ】

監督・両津勘吉

「いぢり葛飾区亀有公園前派出所」のチーム。
「阿わん」とこと両津勘吉を筆頭に長年「ジャンプ」に連載された
力を武器に戦つ。

チーム紹介（後書き）

開幕戦

「小説ウイニングスマッシュ 桜ヶ丘ティータイム」

【小説ウイーテングス vs 桜ヶ丘ティータイム】試合開始前

～QVCマリンフィールド～

幕張メッセの隣にある球場だ。

開門時間前から球場の周りには大勢のファンが詰めかけている。

～球場内～

「小説ウイーテングス」の面子が試合前のミーティングを行っている。

阪神虎之介

「今日はお集まり頂きありがとうございます」

この作品の作者で一応監督をやる阪神虎之介。ポジションはビームでもやる予定。

阪神虎之介

「皆さんもそうですよ」

ikki

「そうですか…」

ikkiさん。中田ファンである。左投げのアンダースローから繰り出されるシンカーが武器である。投手の為、中田の投手応援歌を使う。

セブンの独り言

「まあ俺はどこでもやれるナビ」

セブンの独り言さん。

強肩強打の捕手。広島東洋カープの石原慶幸選手の応援歌を使う。

しら

「楽しみです！」

しらさん。守備も出来るし打撃も出来る。最高の打者である。千葉ロッテの根元の応援歌を使用。

scaret

「やつてやろうじやん！」

scareteさん。千葉ロッテファン…所謂マリサポである。急遽電話で作者に「やつぱり細谷に変えて」と言つてきただので千葉ロッテの細谷の応援歌使用。

紀葉

「初戦はけいおんですか」

紀葉さん。頭脳明晰な打撃を持っている。伝説的な守備も魅せる。

福岡ソフトバンクの内川選手の応援歌使用。

ウルトラマンゼロ

「勝つぞー！」

ウルトラマンゼロさん。身体能力抜群のヒーローである。DREA

MFIGHTERを応援歌使用。

鷹峯

「やりますか

鷹峯瑛さん。守備が上手く、常にヘッドスライティングの精神を持つ。東京ヤクルトの田中浩康の応援歌使用。

千歳涼介

「けいおん叩きますか！！」

千歳涼介さん。堅実な守備と打撃が持ち味だ。

双樹楨

「昨日は寝れませんでしたよ」

双樹楨さん。足が速く、トップバッターの理想である。千葉ロッテの岡田を応援歌使用。

阪神虎之介

「この日の為に千葉ロッテマリーンズ、阪神タイガース、中日ドラゴンズ、東京ヤクルトスワローズ、福岡ソフトバンクホークスの応援団の方々が来てくれました」

scarlet

「オオ～」

ikki

「洗脳応援か

阪神虎之介

「では本日のスタメンを発表します」

? 双樹 横 (右)

? 鷹峯 瑛 (左)

? 紀葉 (二)

? ウルトラマンゼロ (遊)

? しら (一)

? セブンの独り言 (捕)

? 千歳涼介 (中)

? s c a r l e t (一)

? i k k i (投)

阪神虎之介

「それでは初戦絶対勝つぞ！――」

全員

「オオ――」

（フィールド）

「桜ヶ丘ティー・タイム」の選手が打撃練習を行っている。

ちょうど始まった時と開門の時間が被るのでファンが入ってきた。

山中さわ子
「来たわね
」

【小説ウイニングスマッシュ 桜ヶ丘ティータイム】試合開始前（後書き）

出ていない作者さんも試合中は絶対出しますので。

後活動報告の「始めました。」の所注意を見といてください。

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】スタメン発表（前書き）

スタメン発表は懲りました（笑）

作者さん呼び捨てなのは勘弁してください。

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】スタメン発表

（試合開始30分前）

アナウンス

「それでは両チームの監督によるスタメン交換です」

阪神虎之介

「はいはい」

山中さわ子

「じゃ行ってくるわ」

阪神虎之介と山中さわ子はホームベースに行く。

敷田

「今日の責任審判の敷田です」

阪神虎之介

「よろしくお願ひします」

山中さわ子

「ありがとうございます」

アナウンス

「お待たせしました。只今よりリーグ戦第1回戦小説ウイニングス
対桜ヶ丘ティータイムのスターディングラインアップ及びアンパイ
アを発表致します。まず先攻の桜ヶ丘ティータイム、一番、ショー
ト、中野梓」

【パラララ～】「それ、あ・ず・さー！」

アナウンス

「一番、ライト、秋山澪」

【パラララ～】「それ、み～おー！」

アナウンス

「三番、サーブ、平沢憂」

【パラララ～】「それ、う～いー！」

アナウンス

「四番、キャッチャー、田井中律」

【パラララ～】「それ、り～つー！」

アナウンス

「五番、ファースト、琴吹紗」

【パラララ～】 「それ、むぎーーー！」

アナウンス

「六番、レフト、真鍋和」

【パラララ～】 「それ、まなべーーー！」

アナウンス

「七番、セカンド、鈴木純」

【パラララ～】 「それ、じゅーんーーー！」

アナウンス

「八番、センター、奥田直」

【パラララ～】 「それ、奥田ーーー！」

アナウンス

「九番、ピッチャー、平沢唯」

【パラララ～】 「それ、ゆーいーーー！」

【パ～ララララ～、パ～ララララ～、パツパツパ、パツパツパ、パ
～パツパツパ～】

応援団長

「それーーー！」

【パパパパ～パパツパ～パ～パパパパ～】 「オ～、ハイーーー！」

【パパパパ～パパツパ～パ～パパパパ～】 「それ

ハイハイハイ……

アナウンス
「続きまして、後攻の小説ウイニングス！！一番、ライトオ双樹樋」

【ダダン】「ふ～た～き～」【ダダン】「ふ～た～き～」【ダダン】
「ふ～た～き～」

アナウンス
「一一番、レフトオ、鷹峯瑛一～」

【ダダン】「鷹峯一～」【ダダン】「鷹峯一～」【ダダン】「鷹峯一～」

アナウンス
「二一番、サーデォ、紀葉」

【ダダン】「のーりーはー」【ダダン】「のーりーはー」【ダダン】
「のーりーはー」

アナウンス
「アナウンス

「四番、シート、ウルトラマンゼロ～」

【ダダンダン】「ゼロ～」【ダダンダン】「ゼロ～」【ダダンダン】
「ゼロ～」

アナウンス
「五番、ファースト、しら～」

【ダダン】「し～り」【ダダン】「し～り」【ダダン】「し～り」

アナウンス

「六番、キャッチャー、セブンの独り言ー。」

アナウンス

「七番、セントア、千歳涼介！」

【ダダン】「ち、ヒ、セー！」【ダダン】「ち、ヒ、セー！」【ダダン】

「ち、ヒ、セー！」

アナウンス

「八番、セカンド、スカーラート！」

【ダダンダン】「s carl et！」【ダダンダン】「s carl et！」
【ダダンダン】「s carl et！」【ダダンダン】「s carl et！」

アナウンス

「九番、ピッチャー、イッキ！」

【ダダッダン】「イッキ！」【ダダッダン】「イッキ！」【ダ
ダッダン】「イッキ！」

【ピッピッパーーピーー】「ホー、ロッテー！」

阪神虎之介

「あー、応援団ワードミスしゃがつたー！」

アナウンス

「アンパイアは主審敷田、墨審、一墨村田、二墨田川、三墨小寺、
公式記録員は中村、試合開始までしばらくお待ちください」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】スタメン発表（後書き）

桜ヶ丘ティータイムには広島東洋カープの応援団と横浜ベイスターズの応援団が来ます。

小説ウイニングスのスタメン発表は千葉ロッテマリーンズのスタメン発表そのままです。

興味がありましたらYouTubeに投稿されているので

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】試合開始！1回表

試合開始直前に阪神虎之介が円陣を組む。

阪神虎之介

「笑」
それは冗談でください！ 後風通りながらのお話を聞いて

i
k
k
i

「かみシヤー？」

Q>じマリンフィールドは海風の影響で風が強い時がある。過去に「強風による中止」があるほどだ。

今回はバッケネット方向に12Mの風が吹く。

アナウンス

「 それでは小説ウイニングスの選手が守備に着きます。」

應援

ikkii

(嫌だな、マリンで風が強いのは)

ikki! iki! iki! iki! iki!

スタンドからikkさんの応援する「ホールが聞こえる。

アナウンス

「一回の表、桜ヶ丘ティータイムの攻撃は一番、ショート、中野梓！」

桜ヶ丘ティータイムはアウェイなので入場曲は無しである。

応援

「かつ飛ばせ！かつ飛ばせ！あずさ！かつ飛ばせ！かつ飛ばせ！あずさ！」

敷田主審

「プレイ！」

ikk

（最初どうします？）

セブンの独り言

（打ち上げるのは厳禁！低めにシンカーを）

ikk

（ア解）

ikkさんが振りかぶって投げる！

【ペジコー】

中野梓

(ボール…)

敷田主審

「ストライク！」

中野梓

「え？」

セブンの独り言
「ナイピー！」

i k k i

「ふう」

セブンの独り言
（次も低めにシンカー…）

i k k i

（了解）

【ピシュー】

中野梓

（これはストライク？）

【バシー】

敷田主審

「ストライクツウ！」

中野梓

「ええ！」

平沢唯

「あ～ずこちゃん、バット振らなかつたらアウトだよ～」

真鍋和

「唯…」

平沢唯

「なに？」

真鍋和

「マトモな事言ひわね…」

中野梓

（次は…）

セブンの独り言

（内角低めに直球）

iki

（OK）

【ページ一】

中野梓
(来た！)

【カキン！】

セブンの独り言

「しまつた！」

紀葉ちゃんとウルトラマンゼロさんの間を…

ウルトラマンゼロ

「シユワ…」

中野梓

「ゲッ…」

しかしそのまま一墨送球するが…

【バシ！】

【ダン…】

しら

「アウト…」

村田墨審

「セーフ」

中野梓

「こやあ～」

奥深つた為、内野安打に…

ikk.i

「クツソ…」

アナウンス

「一番、ライト、秋山灝」

応援

「決めろー・決めろー・灝ー・決めろー・決めろー・灝ー・」

「決めろー」とは送りバントの事である。

実際秋山灝はバントの構えだ。

紀葉

(前進、前進)

しら

(内野は全員前進してゐるな…)

ikk.i

(高めに投げたい)

セブンの独り言

(高めに…)

ikk.i

(よしあた)

【ピシュー】

【力キン!】

ikk i

「あ!」

まさかの秋山、バスターで打つ。

しかしボールに力無く、セカンドsc ar le tのフライ…

sc ar le t

「え? え?」

ikk i

「はあ~」

しら

「うそお!」

一塁の方向に来て1、2塁間にポトリ

その隙に一塁ランナーは二塁へ

いきなり無死1、3塁のピンチ!

セブンの独り言

「今のがマコーンの恐怖…」

しづ

「12月って凄いですね」

紀葉

「憂でゲッソに取りましょひー。」

ikkii

「ああ、1Jの際1点はあげるわ」

アナウンス

「三番、カード、平沢憂」

セブンの独り言

（…しかし高めだと風でひつなむか分からないし低めは読んでるだ
らつむ…）

ikkii

（様子見を）

セブンの独り言

（様子見るかあ）

【ペシコー】

敷田主審

「ボールー！」

ikk i

(それで内角にシンカー…)

セブンの独り言

(外角にシンカーを)

ikk i

(いや内角に)

ikk iさんが顔を横に振る。

セブンの独り言

(じゃあ内角?)

ikk i

(やうそー)

ちなみに平沢憂は

平沢憂

(ikk iさんのさつきの振りはセブンさんが内角要求したのを外角してくれつて頼んだんだわ)

ikk i

(ほい!)

【ピシュー】

平沢憂

「しまつた!」

ついバットがはじつめつ。

【カーキン】

フライだ！

ikkii

「キヤツチャー！」

セブンの独り言

「オーライ！」

しかし打球は…

フェアゾーンからファウルゾーンへ…

セブンの独り言

「とつとつと…あー…

セブンの独り言さんが足を滑らし、転倒しけ打球が

敷田主審

「アウー…

セブンの独り言

「え？」

紀葉

「間に合つた…」

三塁から全速力で走ってきた紀葉さんがスライディングキャッチを決めた！

ライトスタンンド（小説側）

「オ～！」

平沢憂

「凄い…」

平沢憂も感服するしかない。

アナウンス

「四番、キャッチャー、田井中律」

すると今まで流れていた。「広島東洋カープチャンスティーマ？」から元千葉ロッテマリーンズの西岡剛選手の2009年までの応援歌「カチューシャ」に変わった。

応援「オ～オ～オ～オ～オ～オオ～オ、オ～オ～オ～オオオ…」

i k k i

（むしろ…律より憂の方が怖かつたw）

セブン独り言

（低めを引っ掛けましょつ…）

【ペジムー】

田井中律

「もりつたあ！」

【カキン】

scarlet

「はい」

scarletが取つて一墨へ

ウルトラマンゼロ

「それ」

一出川墨審

「アウト！」

リズムに乗つてウルトラマンゼロさんが一墨へ

しら

「アウト！」

村田墨審

「アウト！」

田井中律

「あー、やあー！」

4—6—3のダブルプレー！

無死1、3塁のピンチからikk.iさんが乗り切った。

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】試合開始！1回表（後書き）

桜ヶ丘—0

小説—

桜ヶ丘

平沢唯／田井中

小説

ikkii／セブンの独り言

【1回表】

?中野梓

2ストライクと追い込まれたがレフト前にヒット。

?秋山澪

送りバントの構えを見せたがヒッティング、12Mの風も味方しライト前にヒット。

?平沢憂

狙いを外されキャッチヤーフライと思いきや、またしても12Mの風が邪魔するが、三塁紀葉が好補。

? 田井中律

攻撃的な打撃が裏目に出で、4-6-3のダブルプレー。

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】一回裏（前書き）

途中で作者さんの名前が呼び捨てになつてゐる箇所がござります。

ご了承ください。

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】1回裏

桜ヶ丘ティータイムの攻撃が終わり、桜ヶ丘ティータイムの選手が守備につく。

阪神虎之介

「先発平沢唯ですか」

ikki

「どうなんだろ？彼女？」

平沢唯

「行くよりつちゃん！」

田井中律

「来い唯！」

平沢唯が投球モーションに入った。

阪神虎之介

「なんだあれ！？」

双樹楨

「うわ！」

千歳涼介

「始めてみるなあのフォーム」

紀葉

「変則か」

阪神虎之介

「あつ、でもあれヒラヒラ投法だ！」

ikk_i

「よく見るとそうだね」

阪神虎之介

「打てなくは無いだろ？」

双樹樺

「はい」

阪神虎之介が先頭打者の双樹樺さんに話しかける。

アナウンス

「1回の裏、小説ウイティングスの攻撃は、1番、ライトオ、双樹樺」

双樹樺

「ウッシ！」

田井中律

（唯、最初は様子見のボールな）

平沢唯

（うん）

唯が振りかぶつて投げる。

【バシ】

敷田主審

「ボール」

双樹樺

（これは様子見だな）

田井中律

（唯、次はコレ）

平沢唯

（うん）

【ピジョー】

双樹樺

（おつと）

【バス】

敷田主審

「ボールツウ」

双樹樺

（ボールが手前で落ち込んだ、チエンジアップか？）

双樹樁はそう考える。

田井中律

(唯、決めちやえ!)

平沢唯

(うん!)

【ピシュー】

双樹樁

(ストライクゾーンに来た!)

【カキン!】

打ち上げてしまつた。

双樹樁

「畜生!」

しかしやつぱり12Mの強風が邪魔し…

バックネットに当たり

敷田主審

「ファールボール!」

双樹樁

「ふう~」

田井中律

「え～、こんなのがり？」

双樹楨は構え直す。

ライトスタンンドから声援が聞こえる。

「双樹！ヒット！双樹！ヒット！ヒット！」

双樹楨

（じやあせ）

平沢唯が投げる。

【口】

双樹楨

（こんなのもありな訳だ）

カード憂へのセーフティーバント

意表をつかれた憂がボールを素手で掘み投げよつとするが

双樹楨

「はいセーフ」

平沢憂

「遅かつた…」

俊足の双樹樋が墨に出る。

アナウンス

「一番、レフト、鷹峯瑠！」

「黄金魂」の曲に合わせて鷹峯がバッター・ボックスに入る。

唯は一墨にランナーがいるためクイックになる。

鷹峯

（監督、バントしますか？）

鷹峯は阪神虎之介に「バントするか」の確認をする。

阪神虎之介

（まだいいよ）

それを拒否

阪神虎之介

（ゲッターでもいいから当たつていけ！）

平沢唯がクイックで投げる。

【ピシュー】

【カキン！】

初球を上手くレフトに打つた。

「オ～オ～オ～オ～オオ…」

ヒットテーマが流れ。

アナウンス

「三番、サー、ド、紀葉！」

無死1、2塁のチャンス！

打席には主力打者の紀葉さんが立つ。

観客？

「紀葉さん、打つて～」

だからチャンステーマ発動である。

「紀葉さん！」

紀葉さんの場合、元々の曲が福岡ソフトバンクの内川のヒットイングマーチなので、福岡ソフトバンクの「ワッショイ」がチャンステーマに使われる。

「ワッショイワッショイ…」

紀葉

「すう～、はあ～」

打席の中で深呼吸する。

「紀葉！」

紀葉

（風はセンターから吹いてるから、長打は無理、だから軽打で相手のミスを誘う！）

【ピシュー】

敷田主審

「ストライク！」

紀葉

（そのためには外角の球が欲しい）

田井中律

（外角にボールを）

平沢唯

（はい）

平沢唯が振りかぶつて投げる。

外角のボールだが

紀葉

（。。。。キター！）

【ガキン！】

田井中律

「ボーリ球を打つた！？」

ボールはショートの中野梓の目の前に落ちる。

田井中律

「ああやー、一瞬ー。」

「はい！」

一塁に送球し、アウトになつたが

アナウンス

-1- フランク・マニラ・シティ

ウルトラマンゼロ

シユワ!

大型遊撃手である。

ここで初めて山中監督が動く！

山中村わ子

(敬遠しない)

田井中律

(はい)

平沢唯

(わかった、さわちゃん)

そして…

敷田主審

「ボールフォア！」

一死満塁

やつぱりチャンステーマが止まらない！

しら

（よつしゃ）

しらちゃんが氣合いを入れ直す。

田井中律

（外野バック、バック）

外野が微妙に下がる。

「ワッショイ！ワッショイ！」

最早、外野スタンドはお祭り状態だ。

平沢唯

（りつちゃん、私低めに投げたい）

平沢唯が田井中律にそう要求する。

田井中律

(いいよ)

しかしこれが命取りになる。

【ピシコー】

田井中律

「あ！！」

ボールが高めに来た。

しら

「もうつたあ！」

【カアキインー】

渴いた音が聞こえた。

レフトの真鍋和が下がる下がる。

がら空きの外野に落ちた。

「ワアアアアアアアアアア！！」

ライトスタンンドから歓声があがる。

真鍋和が打球に追いついて投げても既に3人が返ってきてた。

しらのタイムリー3ベースヒットである。

マウンドに集まる桜ヶ丘ナイン

田井中律

「唯^{アシ}ドンマイ、私が悪かった」

平沢唯

「別にいいよ、失投した私も悪いから」

中野梓

「まだ一回ですから」

田井中律

「それより得点されたショックを體負つたよ」

平沢唯

「うん！」

アナウンス

「六番、キャッチャー、セブンの独り言

セブンの独り言

「ウッシ！」

「続け～、続け～セブン～続け～続け～セブン～！」

一死三塁

レフトスタンンドに陣取っている広島応援団は複雑な気持ちだ。

なぜならいつもなら自分がやる曲だから

平沢唯

(どうするの?)

田井中律

(パワーで押すタイプだから低めで)

平沢唯

(はーい)

【ピジョー】

セブンの独り言

(初球は見送る)

敷田主審

「ボール!」

律は唯にボールを返した瞬間、「力抜け」とジェスチャーした。

平沢唯

「ふう~」

一回深呼吸した後、律を見る。

セブンの独り言

(俺みたいなバッターだつたらボール球誘つて引っ掛けははずだ)

自分もキャッチャーであるセブンの独り言は律のコードを予測する。

田井中律

(徹底的に低めを攻めるよ)

【ペシコー】

敷田主審

「ボールソウ！」

セブンの独り言

(低めを中心に攻めるなあ)

セブンの独り言は敷田主審にタイムをかけた。

敷田主審

「タイム！」

セブンの独り言はバットを構え直す。

セブンの独り言

「どうも」

敷田主審

「プレイ！」

田井中律

(低め！低め！)

平沢唯

(うん!)

ちなみに内野はバックホーム態勢である。(前進守備)

【ピシュー!】

セブンの独り言
(これもボール)

敷田主審

「ストライク!」

セブンの独り言
「ぐつ…」

2ボール1ストライク

平沢唯

「ほい!」

【ピシュー!】

【ガキン!】

ボールはファウルゾーンへ

村田墨審

「ファール」

山中セワ子

「アイツ粘るわね…」

セブンの独り言

「ふ～」

平沢唯

「つつかやんどうじょう～」

田井中律

「落ち着け唯」

セブンの独り言

（低めにヤマはるか）

平沢唯がサインを確認する。

田井中律

（徹底的に低め）

平沢唯が振りかぶって投げる。

【ピシュー】

低めの直球

【カキーン！】

狙い打ちした。

打球はライトに飛ぶ飛ぶ…

しかし風に戻される。

しら

「タッチアップかな？」

さあライトの秋山澪が捕球する…

三塁「一チ

「GO！」

しらさんガタッチアップ！

田井中律

「ノーカット！」

中継しないで直接投げるよう指示。

ライトから良い球が返ってくる…

しらさんがホームベースに突っ込む…

【ズザザザザザ…】

判定は…

敷田主審

「セーフ！」

しら

「よつしゅー」

阪神虎之介

「4点目ー」

小説4—0 桜ヶ丘

山中監督がマウンドに行く。

山中さわ子

「唯大丈夫よ、落ち着いていきなさい」

平沢唯

「うん…」

アナウンス

「七番、センタア、千歳涼介」

B - N 「D o n - t w a n n a l i e」が流れる。

千歳涼介

「まさか1回で打席に立つとは…」

阪神虎之介

（初回に4点も取れたのは凄い…）

ikkii

「すいません、俺は準備しといた方がいいですか？」

わざわざまでよこせやんは鷹峯さんの打席の時からグランジの片隅で投球練習をしていたが、もう七番なので打席に立つ準備をすると聞いてきた。

阪神虎之介

「うーん、八番のscarletさんが打席に立つたら準備して」

【カキン!】

阪神虎之介

「あーーー！」

一出川墨審

「アウトー！」

千歳涼介

「チツ」

阪神虎之介

「ナイスバッティング！」

千歳涼介さんはジャストミーティングしたが、余りにも当たりが良すぎてセカンドライナーに終わった。

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】1回裏（後書き）

1回裏終了

桜ヶ丘 0 — 0

小説 4 — 4

桜ヶ丘 平沢唯／田井中律

小説 *i k k i*／セブンの独り言

【小説ウイニングス】

？双樹楓

意表のセーフティーバントで出墨。

？鷹峯瑛

初球打ちでレフト前ヒット。

？紀葉

上手くショートゴロで後に繋げる。

？ウルトラマンゼロ

敬遠される。

?しら

平沢唯の高めの失投を巧打。普通ならホームランだが12Mの風により3ベース。

?セブンの独り言

ライトへの犠牲フライで4点目。

?千歳涼介

ジャストミーティングしたがセカンドライナー。

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】2回表（前書き）

他球場の途中試合経過

学園都市、ゴールデンガールズ対マリオマリナーズ（明治神宮野球場）

学園都市 1—0 マリオ（2回表終了）

【学園都市投手】

佐天

【マリオ投手】

ドンキー

インテックス対亀有ポリスマンズ（横浜スタジアム）

インテックス 0—3 亀有（2回表途中）

【インテックス投手】

上条

【亀有投手】

両津

ポケットモンスターZ対ジャイアンズ（わかさスタジアム京都）

ポケットモンスターZ対ジャイアンズ（1回表途中）

【ポケット投手】
サトシ・レッド

【ジャイアーズ投手】
剛田

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】2回表

先制のタイムリー3ベースヒットを放つたしらさんに応援団がコールする。

「ダダン」
「ダダン」
「ダダン」
「ダダン」

۱۵۷

「あー、たとへん。」

しらさんがライトスタンドへ応える。

スタンドが湧く。

アナウンス

「2回表、桜ヶ丘ティータイムの攻撃は、五番、ファースト、琴吹紺」

「わーちゅーん！」

セブンの独り言

（パワー ヒツターだ、 気をつけろ…）

内野は後退する。

紀葉

(カードに来い、捌いたる)

「む～ぎー・む～ぎー・む～ぎー・」

広島応援団の元、レフトスタンドではスクワット応援が行われる。

セブンの独り言

（最初はボールで）

i k k i

（了解）

【ピシュー】

琴吹紬

（フフフ…）

【力キン！】

i k k i

「な！」

外のボール球を振った。

しかも…

しら

「はつや！」

ファーストを抜けた。

しげ

「なんだ今の一・?」

紀葉

「はええ…」

琴吹紬

「フフフ…」

ikki

「またノーアウトでランナーか…」

アナウンス

「六番、レフト、真鍋和」

平沢憂同様に打てる6番打者である。

真鍋和

（上手く風に乗せて行けば）

そつ考える真鍋和

紀葉

（風に乗せるかも）

ikkiさんが振りかぶつて投げる。

【ピシコー】

内角高めの直球だ。

【カキンー】

それを打つ。

scarlet

「とれへんわ」

打球はちょっと押し戻されてセンター前に

千歳涼介

「これで無死1、2塁かあ」

アナウンス

「七番、セカンド、鈴木純」

紀葉

「タイムお願いします」

小寺墨審

「タイムー」

紀葉さんがマウンドに駆けつかる。

紀葉

「…k-k-k-kさん、4点フードなんでのんびり行かねばよ」

ikki

「そうですね、4点取られてもいいんですから」

紀葉さんのがサーブに戻り、試合再開

山中さわ子

「4局ビハインドかーーの回ーー止でも多く返すわよー。」

ikkさんの振りかぶって投げる。

【ピシュー】

鈴木純

「わっー。」

敷田主審

「ストライクー。」

鈴木純

（手前で球が伸びてる…）

セブンの独り言

（吹っ切れたよっだな）

ikk

（今の俺はド真ん中に投げても打たれないぜーー。）

セブンの独り言

（外角高めに変化球）

ikk

(了解!)

【ピシュー】

鈴木純

「うー」

敷田主審

「ストライクツウ！」

鈴木純

(今の振つたら確実にゲッツーだった…)

セブンの独り言

(引っかかれよ…)

そう悪態をつくセブンの独り言

セブンの独り言

(それでは内角低めに沈むシンカーで、ボールになつてもいいです)

i k k i

(はい)

【ピシュー】

鈴木純

「これ打てるー！」

【カキンンー】

打球はショートへ

ウルトラマンゼロ

「ショウワチー」

ウルトラマンゼロちゃんが思い切りジャンプするが…

小寺墨審

「フエアー！」

レフトヘッド

無死満塁

アナウンス

「八番、セントア、奥田直」

「誰だあーーー？」

観客の野次が飛ぶ

今年から始まった「けいおん！在校生編」の新キャラである。

奥田直

「はあーーー」

果てしなく奥田直は落ち込んでいる。

奥田直

(なんで斎藤さんが選ばれないのですか?..)

セブンの独り言

(まあ「イツだつたら満點エヌ無いな...」)

ikk i

(代打出してやれよ...)

ikk iさんも低評価だ。

セブンの独り言

(「」でゲッターにしますか)

ikk i

(はー)

【ペシワ-】

奥田直

「わあ！」

敷田主審

「ストライク！」

セブンの独り言
「エツittんの?..」

奥田直

「え...」

セブンの独り言

(雑魚だから別に真ん中でもこ ciòよ)

iki ki

(はこ)

【パンシュー】

奥田直

「あー。」

【カアキンー】

紀葉

「あーと」

【バシジー】

小寺豊審

「フヒアー。」

打球は三塁紀葉へ

紀葉さんが三塁ハンマーの琴吹紺を確認すると

ホームフォースアウトには間に合ひ

しかし紀葉さんは三塁を踏む

小寺監審

「アウト！」

三塁フォースアウト

紀葉

「セカンドオー！」

セカンドへ送球。

s c a r l e t

「よつしゃあ！」

s c a r l e t さんが一塁踏んでセカンドフォースアウト。

s c a r l e t

「じりせんー！」

s c a r l e t さんがしらさんへ送球する。

最悪トリプルプレーだが

奥田直

「わあああー！」

こけたよつなヘッドスライティングだが

村田監審

「セーフー！」

「つまおおおお…」

ゲッツーだが1点を返した。

小説4-1 桜ヶ丘

奥田直

「ハアア～」

しら

「ナイスファイト」

奥田直

「あ、ありがとうございます…」

アナウンス

「九番、ピッチャー、平沢唯」

「ゆーいちやーん！」

平沢唯

「よつしー」

セブンの独り言

(「コイツは良く分からぬ…天然キャラだけに」)

ikk_i

(どうします?)

セブンの独り言

(とりあえず内角に威嚇)

ikk i

(威嚇ですね)

【ピシュー】

平沢唯

「ヒヤア！」

敷田主審

「ボール！」

阪神虎之介

(危ないな今の…)

セブンの独り言

(やり過ぎ… 今の失敗したら危険球退場だぞ…)

ikk i

(威嚇だけに)

セブンの独り言

(次は外角で)

【ピシュー】

【カキンー】

ikk i

「 むう しゃあー。」

ikkieさんが捕球し一塁へ

村田監審

「 アウトー。」

無死満塁から紀葉さんのナイス判断力もあり一点で抑えた。

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】2回表（後書き）

桜ヶ丘 0 1 — 1

小説 4 — 4

【桜ヶ丘】

平沢唯／田井中律

【小説】

ikkii／セブンの独り言

? 琴吹紬

田の覚めるよつな弾道でライトにヒット

? 真鍋和

風に上手く乗せてセンターにヒット

? 鈴木純

レフト前ヒット

? 奥田直

カード「ロロで紀葉さんがホームフォースアウトよりゲッターかトリ
ブルプレーにした方がいいと判断し、ゲッターに

? 平沢唯

内角への威嚇球でビビったのかと思いきや外角のボールは打ったが

ピッチャーゴロ

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】2回裏

4-1と小説ウイニングス3点リードの中、打席にはscarle
tさんが立つた。

平沢唯

「よしー！」

田井中律

「しまつていぐぞーー！」

そう叫んで田井中律はマスクを被る

田井中律

（最初はチーンジアップだ）

平沢唯

（うんー）

【ピシコー】

【カキンー】

田井中律

「セカンドオー！」

鈴木純が華麗に捌いて1アウト。

アナウンス

「九番、ピッチャー、ikkii」

ikkiiさんが打席に立つ。

ikkii

（俺ピッチャーだからこゝは二振で行こつ）

そして…

敷田主審

「ストライクバッターアウト！」

それと同時に名物の「兀」が見れた。

阪神虎之介

「あれが敷田さんの兀かあ」

バッターは一巡して一番双樹樁

運動会でお馴染みの「天国と地獄」が流れる。

平沢憂

（またセーフティーがあるかも…）

平沢憂が前進する。

田井中律

（こいつには初球チエンジアップで…、セーフティーがあるかも知
れないから）

律もそう考える。

平沢唯

(わかつた)

【ペシコー】

【サツ】

敷田主審

「ボール！」

ちよつと低め過ぎてボール。

田井中律

「次は高めに直球」

平沢唯

「わかつた」

【ペシコー】

すると双樹楓が、バットを持ち替える。

田井中律

「しまつた！」

【カキンー】

バスターである。

前進守備の平沢憂へ流し打つ

平沢
憂

「キヤア！」

しかし打球は

中野
梓

「ニヤア！」

中野梓がキヤツチ！

そして送球。

村田墨審

「アウト」

3者凡退

阪神虎之介

「嫌だなあ……この感じ……」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】2回裏（後書き）

【2回裏終了】

桜ヶ丘 01 — 1

小説 40 — 4

【桜ヶ丘】

平沢唯／田井中律

【小説】

ikkii／セブンの独り言

? scarlet

チエンジアップを打つがセカンドゴロ

? ikki

見逃し三振

? 双樹楨

バスターするが中野梓のファインプレーでチエンジ。

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】3回表

アナウンス

「3回表、桜ヶ丘ティータイムの攻撃は一番、ショート、中野梓」

「かつ飛ばせーかつ飛ばせーあずさーかつ飛ばせーかつ飛ばせーあずさー！」

レフトスタンドからかつ飛ばせコールが聞こえる。

そしてワライスタンドの一部のファンから

「サークルライナーあずさーサークルライナーあずさーサークルライナーあずさー！」

試合中の作者みたいな事をやってくるファンがいた…

ちなみにこれを読売の長野にやつたら本当にサークルライナーになつてくれたw

そして我らがドヤ顔新井さんと紀葉さんだったり期待度は遙かに違う。

新井>紀葉

そつ話しているついに2ボール2ストライク

中野梓

「打つてやるです！」

i k k i

（セブンセ…、フルカウントにします…）

セブンの独り言

（ここで勝負を決める！内角に直球！）

【ピシュー】

中野梓

「にやあ！」

【カキンン！】

i k k i

「うわあー！」

i k k iさんの股間を破りセンター前ヒット。

山中さわ子

「いいわよ～あなた達」

アナウンス

「一番、ライト、秋山澪」

山中さわ子

（3点差だから送りバンドなんかせずにガンガン行くわよー…）

秋山澪

（むしろバンドしたほうがいいと思ひ…）

「熱く！熱く！ぶち当たれ！」

秋山澪

「ヒイ！」

突然、レフトスタンドが「ライジングテーマ」が始まった。

ライジングテーマ…横浜チャンテ

中野梓の応援歌に横浜の石川を使っているため、勢い余った応援団がやり始めてしまった。

阪神虎之介

「この歌いいよね」

秋山澪はガチガチだ。

セブンの独り言

（なんだこいつ、ガチガチに緊張してるな…）

i k k i

（それじゃ外角低めに直球）

【ピシュー】

敷田主審

「ストライク！」

平沢唯

「みおちゃんリラックス！」

秋山澪はバッター ボックスから離れて深呼吸

セブンの独り言

「大変だな」

ikki

（次：低めにシンカー）

セブンの独り言

（いいよ、ボールにしろ）

【ピシュー！】

秋山澪

「ヒィー！」

【カキン！】

敷田主審

「ファウルボウル！」

2ストライクに追い込まれた。

阪神虎之介

「まずこれでバンドは使えない……」

セブンの独り言
(一球間を開ける、ボールにしろ)

i k k i

(了解)

【ピシュー】

敷田主審

「ボール」

平沢
憂

「濁せんじつかり！」

セブンの独り言

(ラスト！)

i k k i

(おっ！)

【ピシュー】

【バス！】

敷田主審

「スタートライクアウト！」

兀！

秋山澪

「ハア…」

アナウンス

「三番、サーブ、平沢憂」

セブンの独り言

（一番嫌なバッターだ…）

i k k i

（初球高めのスライダー）

セブンの独り言

（絶対ボールにしろ）

【ピシコー】

敷田主審

「ボール！」

山中やわ子

「憂ちやんファイト！」

平沢唯

「う~い~！」

風は相変わらずの12M

セブンの独り言

（低めにお願いします）

i k k i

(了解)

【ペシコー】

【カキーン】

紀葉

「くつ…」

打球はサー^ド紀葉の頭上！

フェアかファウルか…

小寺墨審

「フ^ヒア！」

ギリギリフ^ヒア！

打球はレフトを転々とする。

レフトの鷹峯がようやくフ^ヒンスについた打球を送球。

セブンの独り言

「く…」

一死2、3塁

アナウンス

「四番、キャッチャー、田井中律」

さつきゲッターに終わった四番打者である。

田井中律

「行くわよ！」

セブンの独り言

（一墨空こじるナビ）

阪神虎之介

（敬遠するなよ）

阪神虎之介は外野陣にバックホームの態勢を指示。

山中さわ子

（あつちは外野フライを狙ってるわね）

ikk_i

（高めのフライ？）

セブンの独り言

（だから高めに、ボールが分からぬうつな奴）

ikk_i

（ア解）

【ピシュー】

田井中律

「よつしゃあ！」

【カキン！】

i k k i

「外野行つたぞ！！」

センターへ打球が

三塁ランナーの中野梓はタツチアップの構え

千歳涼介

「バックホーム！！」

そう叫んでバックホーム！

三塁ランナー中野梓タツチアップ！

セブンの独り言

「ノーカット！」

i k k i

「おつと」

送球はワンバウンドでホームへ

タイミングは微妙だ

セブンの独り言はタツチするが

セブンの独り言
「タツチタツチ！」

敷田主審
「セーフ」

「ワアアアアアアア！」

小説4-2 桜ヶ丘

一三墨ランナーは三墨へ

一死三墨

アナウンス

「五番、ファースト、琴吹紬」

さつきはライトへ弾丸ランナーを放つた紬がバッターボックスへ

山中わわ子

「いけいけ！」

4点差から2点差に…

阪神虎之介

（あちひかさんイケイケムードだなあ…）

セブンの独り言

（嫌なバッターだコイツも…）

ikkii

(どひします?)

セブンの独り言

(まあの風ならパワーがあつても『届かない』よな)

ikkii

(やうだな)

【ペジコー】

【カキン】

ikkii

「あー」

【バシー】

紀葉

「よつしー」

小寺墨審

「アウトウー」

三野川イナー

阪神虎之介

「INの回数を返すやー。」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】3回表（後書き）

【3回表終了】

桜ヶ丘 0 1 1 — 2

小説 4 0 — 4

? 中野梓

センター前ヒット

? 秋山澪

見逃し三振

? 平沢憂

三塁線を突き抜ける2ベースヒット

? 田井中律

センターへ犠牲フライ

? 琴吹紗

サードライナー

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】3回裏

3回裏開始前に小説ウイニングス側が円陣を組む。

阪神虎之介

「ちょっと場の空気が悪いです」

双樹樺

「とこいつと？」

阪神虎之介

「スコアボードを見てください」

そつまつてみんな一斉にスコアボードを見る。

すると

しら

「あー」

紀葉

「あれ？」

阪神虎之介

「気づいてるかもしだせんが、ヒット数桜ヶ丘7本に対してもウチ
らは4本です」

ikkii

「効率よく点が獲れてる証拠じゃん」

阪神虎之介

「逆に見れば、押されでます」

iki ki

「まあ そうだね…」

阪神虎之介

「そこ」でこの回から2ストライクまではボールを見送つてください」

しら

「何ですか?」

阪神虎之介

「ティー タイム先発の平沢唯… 彼女はもう体力限界まで来ています」

紀葉

「スタミナ無いんですね」

阪神虎之介

「そこで一気に削ります」

千歳涼介

「分かりました」

アナウンス

「3回裏、小説ウイティングスの攻撃は2番、レフトオ、鷹峯瑛」

「鷹峯さん!」

「セーフティーセーフティー！」

鷹峯

「よしだつた！」

鷹峯さんはセーフティーの構えを見せる。

田井中律

(セーフティー！？)

平沢唯

(セーフティー！？)

【ペジコー】

投球と同時に平沢唯は走る！

しかしバットを引く。

敷田主審

「ボール！」

田井中律

「何だよ…」

続ぐ一球目

鷹峯

(バント…)

平沢唯

(また?)

また投球と同時に走る。

しかし見送る

敷田主審

「ストライク！」

田井中律

(參つたな……搖ゆふつてゐ……)

田井中律はそつ考ふると平沢唯を見る。

彼女は明らかに肩で息をしてくる。

田井中律

(不味いな……)

田井中律はまじ真ん中に投げるよひに指示。

平沢唯

(わかつた)

【ペジコー】

また見送る。

敷田主審

「ストライクツウ」

阪神虎之介

「いいぞいいぞ」

田井中律

（次は高めの直球）

【ピシュー】

【カキイ…】

敷田主審

「ファウルボール」

ワザと鷹峯さんは振り遅れる。

確實に粘っている証拠だ。

平沢唯

「ハアハア…」

田井中律

「唯、頑張れ！」

平沢唯

「う、うんりつちゃん」

平沢憂

「お姉ちゃん…」

ベンチでは

山田わわ子

「曾我部さん肩作って」

曾我部恵

『分かりました』

ブルペンに電話する。

結局、鷹華さんは四球で出塁。

アナウンス

「三番、サークル、紀葉」

紀葉さんはネクストバッターズサークルでバットを回しながら打席に立つ。

2ストライク戦法は変わらない

紀葉

(だけどね)

【ペナルティ】

紀葉

「上手い所に来たら打つ！」

【カキン！】

中野梓

「わあ！」

ショートを超えた。

レフト前ヒット

ウルトラマンゼロ

「ああ、今度は打たせてくれよ…」

アナウンス

「四番、ショート、ウルトラマンゼロ」

「ワアアア！」

スタンンドが湧く

「頼んだ！」

ウルトラマンゼロ

「ショワッ！」

田井中律

(ビハーチョウル…)

平沢唯

(つちあやさん)

平沢憂

「タイム、お願ひします」

小寺墨審

「タイム」

平沢憂はマウンドに行く

平沢憂

「お姉ちゃん、頑張って」

平沢唯

「う~い~」

平沢憂がサードに戻り、試合再開

平沢唯

「それ

【ピシュー】

高めのボール

田井中律

「マズい!」

【カキンン!】

平沢唯

「あー」

打球はレフトとセンター……

奥田直

「あ…、あ…、あ…」

真鍋和

「奥田さんー任せでー!」

奥田直

「はいー!」

しかし打球は

真鍋和

(これホームラン?)

ホームランかと思つたら

【ガシャンー】

風に戻されてもフェンス激突の当たり

バウンドボールを捕つた真鍋和は中継の中野梓に投げる。

真鍋和

「ショートー!」

しかしその間に鷹峯さんはホームイン

紀葉さんも三塁回転。

中野梓がボールをキャッチ！

田井中律

「バツクホーム！」

中野梓

「はい！」

ボールをホームに送球。

【ズザザザザザ】

田井中律

「わあ！」

クロスプレーと思いつきや、田井中律はショートバウンドした送球を取り損ないセーフ。

その間にウルトラマンゼロさんがホーム突入。

平沢唯

「りつちゃん！」

てつきり三塁に止まつたと思った田井中律はビックリするがホームにボールを投げる。

【パシ！】

ウルトラマンマゼン
ロゼンショコワ!

【ズザザザザザザ】

平沢唯

「キャア！」

平沢唯は転倒し…ボールを落とした。

敷田主審

「セーフ」

阪神虎之介

「よつしゃあー！」

ikkii

「やつた！」

ウルトラマンマゼンマゼンのランニングホームラン！

小説7-2 桜ヶ丘

そして、山中さわ子監督がマウンドに向かい

山中さわ子

「ピッチャー、曾我部恵」

敷田主審

「分かりました」

平沢唯、2回0／3、7失点で降板

田井中律

「大丈夫、敗戦投手にはしない」

平沢唯

「うん、みんなごめんね」

中野梓

「気にしないでください」

アナウンス

「桜ヶ丘ティー・タイム、ピッチャーの交代を致します。平沢唯に変わりまして、曾我部恵、ティー・タイムのピッチャー、曾我部恵」

レフト後方からリリーフカーが出てきた。

そしてそれに乗つて曾我部恵が出てくる。

曾我部恵

「平沢さん後は任せて」

平沢唯

「お願いします」

ライトスタンンドでは見計らつたように阪神応援団による相手投手ＫＯ時の曲「螢の光」が歌われ始めた。

「燃えろ！阪神タイガース！！」

そして静かな卒業ソングから一気に六甲おろしを歌い始める。

山中恵子

「へう…」

阪神虎之介

「空気が変わった！」

規定の投球練習が終わり

アナウンス

「バッターは五番、ファースト、しら」

しら

「よつしー。」

曾我部恵

（田井中さん行きますか）

田井中律

（はー）

【ペジコー】

しら

「おー」

敷田主審

「ストライク！」

しら

(ボールが落ちた…フォークか?)

曾我部恵

(お次は…)

【ピシュー】

しら

(お?)

敷田主審

「ボール」

しら

(何だ今…スライダー?)

阪神虎之介

(変化球が多そうな)って

曾我部恵

(やして)

【ピシュー】

しら

(ん?)

敷田主審

「ボールツウ」

阪神虎之介

(今の…って…)

ikk i

(まさか…)

しら

(ナックル?)

曾我部恵

(フフフ…)

田井中律

(捕るのが大変)

しら

「タイム!」

しらさんは打席から一回離れる。

ネクストバッターズサークルまで戻ってセブンの独り言せんから滑り止めのスプレーを賣つ。

セブンの独り言

「どうぞ」

しら

「ありがと」

セブンの独り言
「ナックルですね、あれ」

しら
「やつぱり」

セブンの独り言
「そうすると厄介ですね」

しら
「だな」

しづわんは滑り止めのスプレーを使つと打席に戻つた。

敷田主審

「プレイ！」

田井中律

（ナックル多用はあまりしたくな）

曾我部恵

（分かつてゐわ）

【ピジョー】

しら
（ストレート）

【カキンー】

平沢憂

「やつー。」

サークルへ抜けた当たりだったが、平沢憂が上手く飛びついて送球。

【パシー】

村田墨審

「アウト」

アナウンス

「六番、キャッチャー、セブンの独り言」

曾我部恵

（ハハハバッター！）

【ピッコー】

曾我部恵

（ナックルが使えるのよね）

【カキイ…】

セブンの独り言

「畜生ー。」

打球はピッチャーの前を行きピッチャー、口

村田墨審

「アウト」

アナウンス

「七番、センター、千歳涼介」

千歳涼介

「ふう〜」

打席の中で千歳涼介さんは深呼吸。

【ピシュー！】

【カキン！】

阪神虎之介

「ナイスバッティング！」

千歳涼介

「しゃあ！」

ライト前ヒットで出塁。

s c a r l e t

「よーし俺も！」

アナウンス

「八番、セカンド、s c a r l e t」

【カキン！】

中野梓

「はい！」

村田墨審

「アウト」

s carlet
「ダメでした」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】3回裏（後書き）

【3回裏終了】

桜ヶ丘 011 — 2

小説 403 — 7

【桜ヶ丘】

平沢唯・曾我部恵・田井中律

【小説】

ikkii／セブンの独り言

? 鷹峯瑛

粘つて四球

? 紀葉

上手く引っ張りレフト前ヒット

? ウルトラマンゼロ

ファンス激突のランニングホームラン

? しら

変わった曾我部恵の変化球に踊されたがサード強襲のヒット性のあたりを放つ、サードゴロ

?セブンの独り言

ピッチャーゴロ

?千歳涼介

ライト前に上手く流す

? scarlet

平凡なショートゴロ

【小説ウイテンクス対桜ヶ丘ティータイム】4回表

3回裏終了時、記者席では

記者?

「3回で7・2か」

記者?

「やっぱり打線に迫力のあるからな」

記者?

「それにしてもピッチャーの奴出て来ないな」

記者?

「打撃練習には出てきましたけど、ベンチを眺めてもこませんね」

記者?

「やつぱり代打の練習でもしてるのかなあ?」

記者?

「一番ピッチャーだと俺は思つたんだが」

—ライトスタンダー

観客?

「ついたあん! 紀葉あん! ワルトワーマンゼロあん最高!」

観客?
「ナビ!」の横断幕が立つ!

この観客は試合開始から「獣王無敗！」や「燃やせ野球魂！」等の横断幕を掲げているが、もう一枚「俺の誇りピッキー！」という横断幕がある。

要はこの小説に参加した作者さんの一人、ピッキーさんのファンだ。

観客？

「出でこないからかあ～」

観客？

「ベンチ入りメンバーにはしつかり名前が出たんだけど」

観客？

「早よ出できてくれえ」

——壁ベンチ——

ピッキー

「3回終わって7-2ですか」

阪神虎之介

「けどあちらさんも当たつている」

ピッキー

「代打の用意はいつでもいいですよ

阪神虎之介

「よろしくお願ひします」

アナウンス

「4回表、桜ヶ丘ティータイムの攻撃は、六番、レフト、真鍋和」

ikki

「5点差だ、のびのび行こう」

セブンの独り言

「そうですね」

敷田主審

「プレイ!」

【ピシュー】

【カキン!】

セブンの独り言

「あ!」

ikki

「く…」

甘く入った球を痛打されセンター前ヒット

アナウンス

「七番、セカンド、鈴木純」

阪神虎之介

「しかしなあ…」

鈴木純

「わあ……」

阪神虎之介

「こいつの時だけ応援が凄い」

今回のこの試合に関わらず、その選手の応援歌はその元となつた選手の所属球団の応援団がやる事になつてゐる。

鈴木純の場合、元にしたのは現広島東洋カープの石井琢朗である。

石井琢朗の場合、前所属球団が横浜ベイスターズである。

そしてなんと使われている応援歌はそのままである。

だから一緒にやることができるし、ファンも知つてゐるため、普段の倍になる。

無死一塁

ikk i

(どうします?)

セブンの独り言

(真鍋は足もある)

ikk i

(しかし5点差ですよ)

セブンの独り言

（元）

(じゃ律儀に送りバントか?)

阪神虎之介

(送りバントは無い、山中監督は強行してくる)

山中さわ子

(まずは空氣を変える事が大事)

【ピシュー】

【カキン!】

ウルトラマンゼロ

「シュワッ!」

【パシ!】

二出川墨審

「アウト」

ショートライナー

アナウンス

「八番、センター、奥田直」

奥田直

「ハワワ…」

真鍋和

(じじは…)

【ペシムー】

真鍋和

(盜墨一)

【パシー】

セブンの独り言

「マジか！？」

【ピシムー】

【パシー】

一出川墨審

「セーフ」

山中わわ子

(あつがとう真鍋わん)

そして

【ムハム】

紀葉

「送りバントかあ…」

ikkii

「ファースト」

紀葉

「はー」

村田墨審

「アウト」

二死三墨

アナウンス

「九番、ピッチャー、曾我部恵」

ikk i

(「」で断ち切りましょう)

セブンの独り言

(そうだな)

【ピシュー】

【カキイ】

敷田主審

「ファール」

セブンの独り言

(当てにいつてる)

ikk i
(だな)

【ピシコー】

【カキン】

敷田主審

「ファール」

i k k i

「一球続けてファールか」

セブンの独り言
(だつたらもう)

【ピシコー】

【カキン!】

セブンの独り言
「転がすしか無い」

打球は一塁 scarletさんへ

scarlet

「あらよつと」

【パシ!】

村田墨審

「アウト」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】4回表（後書き）

【4回表終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 — 2

小説 4 0 3 — 7

? 真鍋和

センター前ヒット

? 鈴木純

ショートライナー

? 奥田直

送りバント

? 曽我部恵

セカンドゴロ

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】4回裏

アナウンス

「4回裏小説ウイニングスの攻撃は九番、ピッチャー、i k k i」

曾我部恵

「それじゃ行きますか」

【ピシュー】

【バシィー】

敷田主審

「ストライク！」

田井中律

（また振る気無し）

曾我部恵

（振らない？）

【ピシュー】

【バシィー】

敷田主審

「ストライクツウ！」

田井中律

(振らない…)

ikkī

(体力温存だ…、振るわけがない)

【ピシュー!】

【バシイ!】

敷田主審

「ストライクバッターアウトウ！」

兀一

アナウンス

「一番、ライト、双樹樁」

阪神虎之介

「打順は早くも3巡目か」

双樹樁

(ナツクルポーラーか)

田井中律

(初球これで)

【ピシュー!】

双樹樁

「おつ」

敷田主審

「ストライク」

双樹樁

（初球ナックル…）

田井中律

（次は…）

【ピシュー】

双樹樁

（え？）

【バシイ！】

130km/hの直球

敷田主審

「ストライクゾウ！」

双樹樁

（クツソ）

田井中律

（3球目は…）

【ピシュー】

双樹樁

(ナツクル!!)

【力キイ…】

敷田主審

「ファール」

双樹樁

(打ちづらい…)

田井中律

(捕りづらい…、次は)

【ピシュー!】

双樹樁

(直球?)

双樹樁さんは直球と思い振りに行くが

【ストーン】

双樹樁

「な!? フォーク?」

【ブウン!】

敷田主審

「スツトライクバッターアウトウ!」

「一」

双樹楨

「畜生」

アナウンス

「一番、レフト、鷹峯琰」

鷹峯

「厄介だな」

田井中律

（それでは）

【ピシコー】

鷹峯

（お？）

【カキンンー】

田井中律

（しまつたー！）

小寺墨審

「ファール」

鷹峯

「くつ……」

田井中律

(危ない危ない、高めにストレートが来たからヒヤッとしたよ)

曾我部恵

「ふう~」

田井中律

(それでは…)

【ペジコー】

鷹峯

(好球だあ~)

【カキイー】

打球はショート中野梓を…

【バシイー】

一出川墨齋

「アウトウ~」

中野梓のファインプレー

鷹峯

「はあ…」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】4回裏（後書き）

【4回裏終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 — 2

小説 4 0 3 0 — 7

【桜ヶ丘】

平沢唯・曾我部恵／田井中律

【小説】

ikkii／セブンの独り言

?ikkii

今後の体力の事もあり三振

?双樹楨

三振

?鷹峯瑛

ショート中野梓のファインプレーがありショートライナー

【小説ウイニングス対櫻ヶ丘ティータイム】5回表（前書き）

この話以降作者の独断で選手交代が行われたり、選手不足の為、内野手や外野手でも投手や捕手をやるかもしれません。

以上承ください。

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】5回表

5回表開始前にグラウンドキーパーの方々がグラウンドの整備を行う。

今日は5回裏終了時に花火をやる予定だつたが、

アナウンス

「本日は強風の影響により5回裏終了時の花火を中止にさせて頂き
ます」

阪神虎之介

「仕方ないな」

ピッキー

「12Mですものね」

しら

「見たかったな…」

アナウンス

「お待たせしました。5回表の桜ヶ丘ティータイムの攻撃は一番、
ショート、中野梓」

中野梓

「5点差です！打つてやるです！」

セブンの独り言

（初球内角に）

ikki
(はい)

【ピシュー】

中野梓
「ヒヤア！」

敷田主審
「ストライク！」

セブンの独り言
(続けて外角に)

【ピシュー】

敷田主審
「ストライクツウ！」

セブンの独り言

(よし最後に…低めのストライクからボールになるシンカー)

ikki
(はい)

【ピシュー】

中野梓
（入つてる…）

【ゾン・】

中野梓

「あ…」

敷田主審

「スツトライクバッターアウトウー！」

「一」

中野梓

「つ…」

ikki

（斬り込み隊長の梓を二振…）

アナウンス

「一番、ライト、秋山澪」

秋山澪

「打たなきや打たなきや打たなきや打たなきや打たなきや」

平沢唯

「澪ちやんリラックス！」

田井中律

「澪ー・怯えるなー！」

秋山澪

「さうだ…、深呼吸…深呼吸…スウ～ハア～

セブンの独り言

(ビビッてゐるビビッてゐる～)

ikk i

(下、上?)

セブンの独り言

(上でお願いします)

ikk i

(はい)

【ピシコー】

秋山澪

「ヒイー！」

【カキンー】

平沢唯

「あー！」

田井中律

「何やつてんだ？」

セブンの独り言

「おつと」

【パス!】

敷田主審

「アウトウ」

秋山澪

「ヒィイ…ライト守つてこる時の応援が頭にこびり付いて…」

アナウンス

「三番、サー、平沢憂」

平沢憂

「お姉ちゃんを敗戦投手になんかしない!」

セブンの独り言

(じやあ…)

【ペナルト】

【カキン】

紀葉

「あ、ありふれど」

【パシー】

小寺監審

「アウト」

ikk i

「やめなさい」

セブンの独り言

「よつしゃー」

平沢

「お姉ちゃんゴメン」

阪神虎之介

「あれ見送ればボールじゃない?」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】5回表（後書き）

【5回表終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 0 — 2

小説 4 0 3 0 — 7

【桜ヶ丘】

平沢唯一／曾我部恵／田井中律

【小説】

ikk／セブンの独り言

? 中野梓

三振

? 秋山澪

キャッチャー小フライ

? 平沢憂

サーブライナー

【途中参加者募集中】

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6439z/>

熱血！アニメゲームリーグ戦

2011年12月29日18時49分発行